

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09000010

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	1	農業の振興	事業優先度	B		
単位施策	1	土地基盤の充実	政策事務分類	2	単独自治事務(個別計画)	
事業名	農業振興地域整備計画管理事業		見直し年度			
事業期間	平成26年度～平成29年度		担当課	9	産業振興課	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	整備計画の管理		関係例規・法令名	無		
事業目標	整備計画の管理		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	無		関係個別計画名	有		
住民協働	無		雄武町農業振興地域整備計画			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	雄武町農業振興地域整備計画を適切に管理するため、計画で定める用途区分をオルソ画像に反映させる。 また、整備計画や地番データの変更があった場合には、その更新を行う。		計画で定める用途区分のオルソ画像への反映 修正が必要な用途区分の整理 委託料 1,600千円	整備計画の管理	整備計画の管理 変更された整備計画や地番データの更新 委託料 200千円	整備計画の管理 変更された整備計画や地番データの更新 委託料 200千円
	事業費(千円)	2,000	0	1,600	0	200
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	2,000		1,600	0	200	200
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,614	0	1,415	0	199
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	1,614		1,415	0	199	0
特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		計画で定める用途区分のオルソ画像への反映 修正が必要な用途区分の整理 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 整備計画の管理	整備計画の管理(書類整理、保管) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 整備計画の管理	整備計画の管理 計画で定める用途区分のオルソ画像への反映 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持 整備計画の管理	※事務事業評価結果 ※事務事業評価結果
前期計画からの継続	年度目標値					
	年度達成率	#DIV/0!	88%	#DIV/0!	100%	0%
第6期計画への継続	全体達成率	0%	71%	71%	81%	81%
	備考欄					

事業名	農業振興地域整備計画管理事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	農務係長	小野 隆行

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	農地所有者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	農業振興地域整備計画のデータ管理	
【抱える課題やニーズは】	保全すべき優良な農用地の確保と農業施策の計画的実施	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	農用地の効率的・効果的な利活用	① 計画変更のオルソ画像への反映(平成27年度実績)	目標年度	平成28年度
			目標値	7筆
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	優良農地の確保と基盤整備	②	実績値	7筆
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	農業振興地域整備計画の整理	平成27年度(前年度)の農業振興地域計画の変更内容を業務委託によりデータシステム(オルソ画像)へ反映した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	農業振興地域整備計画を補完するために整備したデータシステム(オルソ画像への筆別用途区分管理)を更新するため、計画の変更内容を適正に管理する必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	平成27年度(前年度)に変更した計画内容をデータシステムに反映し、農用地を適正に管理できている。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		システムデータにより管理することで、本町全域の計画農用地に係る情報を容易に引出し、または提供することができる。また、システム更新を業務委託することで、膨大な地番データや複雑な農用地の変更内容を短期間に更新した。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		計画の正確なデータ管理は、農地を効率的、効果的に利活用させ、優良農地の確保や新たな基盤整備へとつながることから、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
平成27年度の変更内容を適正に管理し、全てデータシステムに反映したことから、計画どおり実施できた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
正確な農用地の情報は、農地の有効利用、適正管理につながるため、継続して取り組む必要がある。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止